



学校報

# 東湖



## 実りの秋へ

秋休みを終え、10月17日から後期が始まりました。

11日の前期終業式では、1年生の〇〇〇さんと、3年生の〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんが児童を代表して発表をしました。どの発表でも、前期がんばったことや後期の抱負とともに、大切な学校への思いが語られ、胸を打たれました。

後期も、子どもたち一人一人が目標をもち、明るく前向きに挑戦し続けることができるよう支援していきたいと思います。ご家庭でも温かい励ましをよろしくお願いいたします。



1年生 〇〇 〇さん

にゆうがくしてから、たのしいぎょうじがたくさんありました。まず、うんどうかいがたのしかったです。なぜかという、リレーや50メートルそうなどたくさんのきょうぎがあったからです。おおもりやまどうぶつえんもたのしかったです。どうぶつがたくさんいて、わくわくしました。おべんとうをたべたこともおもしろいです。

おべんきょうでは、せいかつかでしゃぼんだまをつくりました。大きいしゃぼんだまになるようハンガーをまるくしてけいとをまきつけ、われないうようにくふうをしました。大きいしゃぼんだまができたときには、

「わあ。」

と、みんなでこえをあげるほど、うれしかったです。なんどもなんどもちょうせんして大きさをきそいあいました。みんなでやったかつどうはほかにもあります。キバナコスモスをはじめいろいろなところに、たくさんうえました。みどりの小さなめからどんどん大きくなっていくようすをまいにちみて、うれしかったです。また、あさ、キバナがゆれているようすが、「おはよう。」といってくれているようで、オレンジいろのキバナにあたたかくみまもられているかんじがしました。あきたすぎのいたには、そんなあたたかいキバナのようすをかきました。

わたしたち1ねん生は、このがっこうで1ねんしかすごすことができません。そのはんぶんを、もうすごしました。のこりのはんぶんもみんなでなかよくすごしていきたいです。

キバナさん、みまもっていてね。



☆ 閉校記念アート  
「未来につづくキバナストリート」の完成を前に、  
全校児童分の板がそろいました  
パチリ！

- ① ぼくが、前きにがんばったことは、理科と社会科です。どちらも、3年生になって始まった教科です。

理科は、はじめは何をやるのか分かりませんでした。でも、やってみたらとても楽しいことが分かりました。こん虫が、どこで、何をしているのか調べるために、グラウンドでこん虫をさがしました。はちやちようちよを調べたら、こん虫は、自分の食べ物やかくれる場所があるところにいることが分かりました。

社会科見学では、スーパーテラタに行きました。とう度計という、あまさはかるどうぐを初めて見ました。シャインマスカットは、思っていたよりもあまいということが分かりました。れいぞうこより温度が低い、そせいこにも入りました。あまりに寒くてびっくりしました。



- ③ 後きは、漢字のれんしゅうをがんばりたいと思います。ぼくは漢字がとても苦手なので、あと6ヶ月の間に、3年間でならった漢字を全部書くことができるようになりたいです。

3年生は掛け合いのような発表形式。原稿を見ることなく、自分の言葉で、しっかりと発表しました。



3年生 ○○○○さん・○○○○さん

- ② 私は、算数でコンパスの使い方を学習しました。コンパスは、円をかくときに使います。使ったことがなかったので、線が二重にならないように気をつけました。さいしょはうまくかけなかったけれど、今はすらすら上手にかけるようになりました。

毎日の生活の中でがんばったことは、あいさつです。がんばろうと思ったわけは、地いきの人や先生に大きな声であいさつをすると、気持ちがよくなると思ったからです。自分の気持ちがよくなると他の人の気持ちもよくなるので、今でも続けています。この先も、続けていきたいと思います。



- ④ 11月に、閉校記念しきてんと東湖小学校さいごの学習発表会があります。2年生と3年生は、東湖地くのしょうかいや、東湖小学校の思い出を発表します。東湖小学校のたくさんの思い出がみんなに伝わるように、大きな声で心をこめて発表したいと思います。



閉校記念アート第二弾 6年生壁面アート「未来につながる一本の線」  
 ☆鮮やかなキバナコスモスをイメージして線を引くうち、  
 日本海ブルーと夕日の赤色が生まれました



## 6年生交流会(9/25)

天王小体育館で行われた6年生交流会は、天王小55名、東湖小17名の計72名での交流会となりました。初めのグループづくりでは、お互いに緊張している様子が見られましたが、様々なゲームを一緒に楽しむうち、自然な交流が生まれ、帰る頃には名残を惜しんで、いつまでも手を振り続けていました。

1月に予定されている天王中学校体験入学での再会を約束し、天王小を後にした6年生です。



フラフーブリレー、バースデーライン、新聞渡りと次第に盛り上がりを見せます



手作りの名刺を交換  
あげてうれしい もらってうれしい



天王中校長先生のお話  
真剣に耳を傾けます



ボール送りリレーの頃には  
和気あいあい



交流のために大切だと思ったことを  
話し合います



全員で円陣を組んで  
激励のエール

## 稲刈り体験(10/1)

5年生が稲刈りを体験しました。春に、〇〇〇〇さんの田んぼに植えた苗が成長し、黄金色の稲穂を实らせていました。鎌を使っての刈り取りは、初めこそおっかなびっくりという様子が見られましたが、あっという間にコツをつかんで手際よくできるようになりました。ぐんぐん刈り取った稲をコンバインまで運ぶ様子を見ていた天王本郷農地水の会の皆さんは、「刈り方が上手で、落ち穂がほとんどない」と、褒めてくださいました。

子どもたちは、田植えや稲刈りの体験はもちろんのこと、折々の田んぼの観察を通して、農家の方々の苦労や稲を育てることの難しさ、収穫の喜びを感じていました。



9月19日付の通知文でお知らせしておりますとおり、鎌仁商店さんから新米をいただきました。児童全世帯に「あきたこまち」10kgの贈呈です。お米の贈呈には、「朝ご飯をきちんと食べて元気に育ててほしい」「おいしい新米を食べてほしい」という鎌田さんの願いが込められています。ご家庭でもぜひこの機会にお米や朝ご飯の大切さについて話題にいただければと思います。

## 輝く東湖の子

潟上市「ふくしの作文」コンクール

【優秀賞】

6年 ○○ ○○さん ○○ ○○さん

第70回青少年読書感想文コンクール県審査

【佳作】

4年 ○○○ ○さん

6年 ○○○○○○さん

男鹿潟上南秋交歓バスケットボール大会

【女子の部 第3位】

天王女子ミニバスケットボールスポーツ少年団

6年 ○○ ○○さん

## サツマイモ掘り(10/9)

1、2年生がサツマイモ掘りをしました。土の中からイモが出てくるたびに「おおい」「つながってるぞ」という声が聞かれました。毎年作がよいのは校務員○○さんの畑作りのお陰です。



収穫したたくさんさんのイモを見て、どのようにして食べようと、わくわくしながら計画中です。

## 11月の行事予定

- |                                    |  |
|------------------------------------|--|
| 1日(金) あきた教育の日 安全点検日                | 20日(水) フッ化物洗口  |
| 3日(日) 文化の日                         | 21日(木) クラブ活動⑧(最終)<br>パワーアップタイム(4~6年)                   |
| 4日(月) 振替休日                         | 22日(金) 歯の健康教室(1、4、5年)                                  |
| 5日(火) 脊柱側湾症検査10:30~<br>卒業アルバム写真撮影  | 23日(土) 勤労感謝の日  |
| 6日(水) 男鹿潟上南秋教育研究会 3校時限             | 25日(月) 登校班長会議④ ALT活動日<br>パワーアップタイム(4~6年)               |
| 7日(木) クラブ活動⑦ クラブ発表リハーサル            | 26日(火) 読み聞かせ⑤(1~3年)<br>集金日(自動引き落とし)<br>3年校外学習(男鹿地区消防署) |
| 11日(月) 臨時児童委員会⑧ ALT活動日             | 27日(水) 天王小学校との交流<br>(1~4年天王小へ)<br>フッ化物洗口5、6年           |
| 13日(水) フッ化物洗口                      | 28日(木) 児童委員会⑨  |
| 14日(木) 予行練習                        | 29日(金) 縦割り班遊び③   |
| 15日(金) 学習発表会・式典準備5・6年<br>1~4年:5校時限 |  |
| 16日(土) <u>閉校記念式典・学習発表会</u>         |  |
| 18日(月) 振替休業日                       |  |
| 19日(火) 5校時限                        |  |



★11月16日(土)の閉校記念式典・学習発表会に向けて、各学年の取組が始まっています。当日は、はつらつとした声、一人一人が生き生きと自分らしさを発揮する姿を見ていただきたいと考えています。